

SpaceCubeMK2



超小型高性能ネットワークコンピュータ (62mm × 62mm × 56mm)

ネットワーク機能に特化

- ・ SpaceWire (3 port) 用バッファメモリとしてバーストSRAM 4MByteを搭載
- ・ Gbit Ethernetを搭載

JAXA (宇宙航空研究開発機構) との共同開発

OSはT-Kernelをサポート



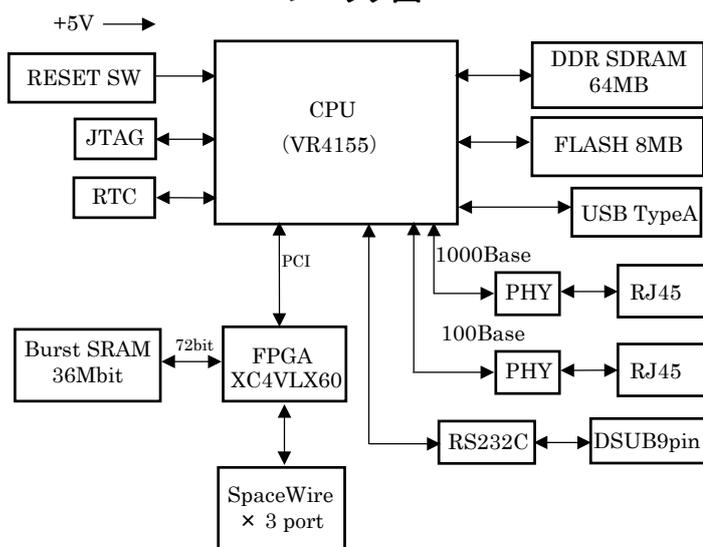
Space Wire

- Networking Protocol Working Group *1, *2
: ESA/NASA/JAXA
- i.LINK (IEEE1394)を凌ぐ高速なリアルタイムデータ伝送と信頼性を両立。
- トポロジの制限が無く、スイッチも構成可能 (バス間ブリッジ、ルータ構成も可)
- ATM並みの高度な機能をデジタル家電から人工衛星にまで提供。

*1 SpaceWire規格はIEEE1355規格をカスタマイズしたものの。その簡潔で信頼度の高い特徴が認められ、装置間接続からモジュール間接続まで幅広く応用されている。日本からは宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部を中心として宇宙航空機器各社が規格策定に参画。

*2 SpaceWire Standard, ECSS-E-50-12A
<http://www.spacewire.esa.int/>

ブロック図



仕様一覧

CPU	VR4155 168MHz~336MHz * スイッチで設定
フラッシュメモリ	8Mバイト
DRAM	DDR SDRAM 64Mバイト
入出力 I/F	SpaceWire × 3port, USB (Fullspeed), RTC, LAN (100BASE × 1, 1000BASE × 1), RS232C, ポート 入出力, JTAG I/F (デバッグ用)
電源	+5V
外形寸法	62mm×62mm×56mm (突起部を除く)

シマフジ電機株式会社 〒144-0051 大田区西蒲田8-1-15 KCビル5階

TEL: 03-3733-8308 FAX: 03-3733-8318 E-mail: info@shimafuji.co.jp URL: <http://www.shimafuji.co.jp/>

◆機能向上や品質改良などのため、本資料に記載された内容は予告なく変更される場合があります。

SP19E1001